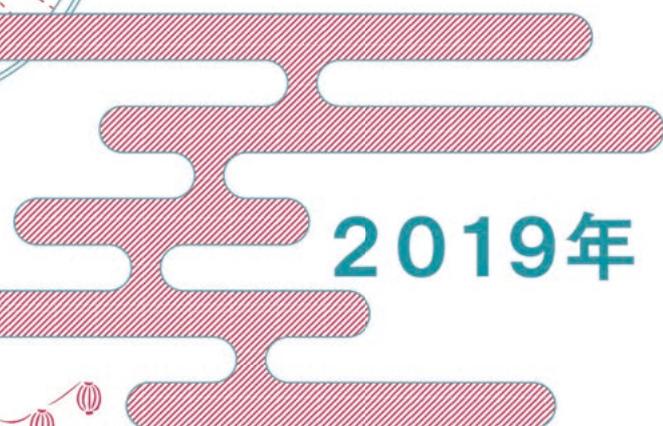


令和元年

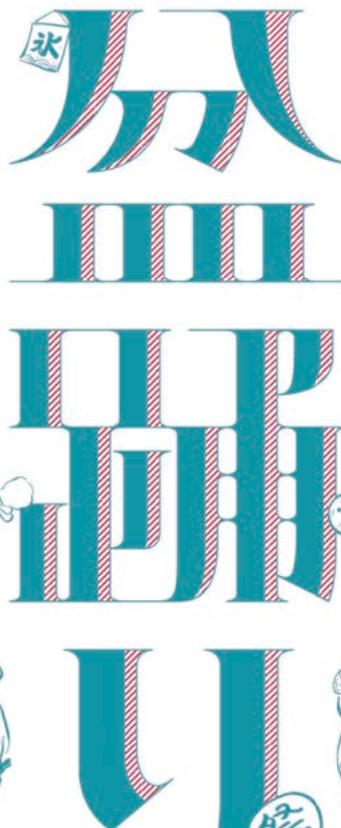
やりました盆踊り



# 2019年 実施報告書

やりました盆踊り

2019



やりました盆踊り 実行委員会

■主催/河北新報社営業局 ■運営事務局/河北アド・センター

第18巻

2019



〈2019年度の開催日程・開催会場〉

7/27(土) やりましょう盆踊り

in 夏まつり仙台すずめ踊り

◆開催場所/仙台駅東口 宮城野通り



8/4(日) やりましょう盆踊り

in 第23回 吉田浜リフレッシュ夏祭り

◆開催場所/吉田浜海岸多目的広場(宮城郡七ヶ浜町吉田浜字浜屋敷31)

8/6(火)・7(水)・8(木) やりましょう盆踊り

in 仙台七夕まつり

◆開催場所/仙台市青葉区定禅寺通り沿い つなぎ横丁

8/18(日) やりましょう盆踊り

in 泉中央おへそひろば

◆開催場所/仙台市泉区泉中央駅前広場「is Me! おへそひろば」

9/1(日) やりましょう盆踊り

in 第28回 オール赤井まつり

◆開催場所/赤井中央公園、赤井市民センター(東松島市赤井字川前三189-1)

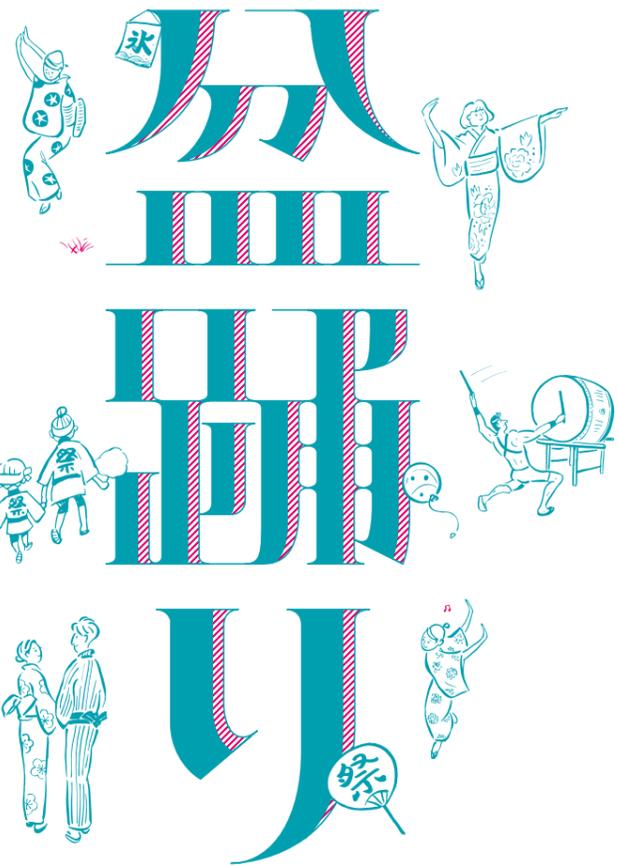


やりましょう盆踊り

2019

盆踊りの「輪」から広がる「和」。

やりましょう盆踊り



「花釜音頭」の普及に貢献するなど、支援の幅が広がりを見せた年になりました。私たちはこの「やりましょう盆踊り」の「輪」から、絆や笑顔の新たな「和」が広がることを願ってやみません。ご協賛をいただいた各社様をはじめ、盆踊りの運営にご協力をいただいたすべての皆様に心より御礼を申し上げます。

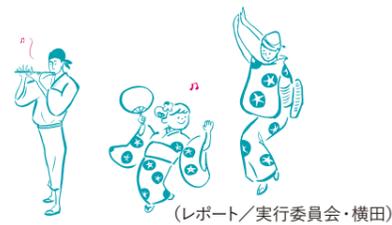
2019年9月

やりましょう盆踊り実行委員会

(主催/河北新報社営業局、運営事務局/河北アド・センター)



# 7/27(土) やりましょう盆踊り in 夏まつり仙台すずめ踊り



- ◆開催地/仙台駅東口宮城野通り
- ◆開催時間/18時00分～19時20分(ワークショップ時間/17時25分～17時55分)
- ◆盆踊り曲/宮城野盆唄、相馬盆唄、七夕おどり

## 夏の始まりを告げる、すずめ踊りと盆踊りのお囃子の音 「宮城野盆唄」が導く地域文化の継承と、人とのふれあい

梅雨明けとなったこの日、照り付ける暑さの中、仙台駅東口から宮城球場を結ぶ宮城野通りで「夏まつり仙台すずめ踊り」が行われました。

普段は多くの車が行き交う大通りで行われるお祭りは、初日で約15祭連(まづら)、500名、二日目は約65祭連、2000名が参加しました。

大通りでは、色とりどりの扇子と、揃いの法被で祭連ごとに特色ある踊りを披露。沿道ではカメラを構える観客の姿もあり、決めポーズの度に歓声が上がっていました。メインステージでは子どもも楽しめる参加型の催しや、多彩なステージ発表があり、夏の始まりを感じる賑わいとなりました。

この会場で開催するやりましょう盆踊りは5年目を迎えます。今年は盆踊りのほかに、メインステージで「宮城野盆唄(宮城野盆踊り)」のワークショップも行いました。

宮城野盆唄は、戦後の盆踊りブームに宮城野区で誕生。「萩を見ましょか 鈴虫聞かか」と、宮城野原の風物や仙台の名所が歌詞に織り

込まれています。

ワークショップでは宮城野盆唄発祥の地である宮城野町会会長・渡辺さんより発祥の由来についてのお話や、宮城野盆唄の普及に取り組んでいる宮城野区の活動を紹介します。その後、少し緊張した面持ちのボランティアさんが踊りのレクチャーを行いました。ステージの前には、間もなく始まる盆踊りに前に見様見真似に踊る人々の姿がありました。

ワークショップが終わると、盆踊りがスタートです。櫓周りには開始早々に子どもからお年寄り、すずめ踊りに参加していた踊り子たちが集まり、二重、三重の輪ができました。最初の曲は、「宮城野盆唄」。その後、「相馬盆唄」「七夕おどり」と続きます。時折、輪に加わった人に踊り手ボランティアの方が踊りを教える場面が見られました。盆踊りを通し、日本文化にふれるだけでなく、人と人とのふれあいが生まれていました。こうして、夏の始まりともいえる「夏まつり仙台すずめ踊り」は盛況のうちに幕を下ろしました。

### 協賛社ブース出展内容

- 日本たばこ産業株式会社/喫煙スペース
- もちべえ様/飲食販売
- 株式会社サンワ・レストラン・クリエイツ/飲食販売
- 住宅情報館株式会社/うちわ、チランの配布
- 実行委員会/手ぬぐい、うちわの配布

### レンタル備品

- 櫓・音響/一式
- 太鼓/1セット
- 照明/投光器一式



協賛社の日本たばこ産業様のブースは櫓に近く、ブース利用者もお祭りをお楽しみいただけました。



協賛社のもちべえ様は、お餅やかき氷の販売を行い、日本の夏を感じました。



協賛社のサンワ・レストラン・クリエイツ様は流行りの「チーズボール」の販売で若者に好評!



協賛社の住宅情報館様の小振りのうちわは、持ち歩きに便利と好評。



メインステージではすずめ踊りの演舞のほか、様々な催しが行われ、観客を魅了していました。



色鮮やかな法被に身を包み、跳ね踊る姿に沿道からは歓声が上がりました。



日も落ち、街の灯りが幻想的に。老若男女、すずめ踊りの踊り手も盆踊りの輪に加わり二重、三重の輪をつくり踊りました。



会場のある宮城野区発祥の「宮城野盆唄」ワークショップをメインステージで行いました。



ネパールから来た留学生も浴衣を着てお祭りを楽しんでいました。



ステージ司会の佐藤友美さんも踊りの輪に加わり、しなやかに踊ります。



普段は多くの車が行き交う宮城野大通りの中央に、仙台駅を望むように櫓がたちました。



踊り手ボランティアさんに教わりながら、子どもたちも踊りを楽しんでいました。



今年制作したうちわを背に、盆踊りに参加する姿は麗しく、涼しげ。



夏まつり仙台すずめ踊り実行委員会の松坂様が「七夕おどり」を歌い、会場を盛り上げます。



迫力のある生囃子で会場も盛り上がり、会場全体が一つになりました。



夏の思い出となる盆踊りの様子を、カメラにおさめる姿も多く見られました。

8/4日 やりましょう盆踊り

# in 第23回 吉田浜リフレッシュ夏祭り



- ◆開催地／宮城県七ヶ浜町吉田浜字浜屋敷31 吉田浜海岸多目的広場
- ◆開催時間／13時00分～20時00分
- ◆盆踊り曲／相馬盆唄

## 「第23回 吉田浜リフレッシュ夏祭り」快晴での開催 踊って、叫んで、笑った、日々の感謝をこの夏まつりに込めて…

七ヶ浜町吉田浜地域は、人口約800名で高齢化率が約半数を占め、高齢化が進んでいます。震災により、27戸が津波の被害を受けました。その後、宮城県地域復興支援課の「地域コミュニティ再生支援事業補助金」を得て、地域のお祭りやイベントに充てていましたが2018年で終了してしまいました。昨年の夏祭りはあいにくの雨で小規模実施だったそうで、今年は大いに盛り上げたいとの声に応えるべく支援させていただきました。

朝から準備で関係者が集まり、個々の準備を進めています。やりましょう盆踊り本部の隣のブースには、木彫りの面「釜神」が次々と並びます。これは火除けや魔除けなど家全体を守ってくれる存在です。製作者の稲妻菊衛門さんが今年他界され、作品を処分される前にボランティアの方々が受け取り、義援金として募り、その代わりに釜神を譲渡されていました。

夏らしいBGMが流れ、徐々に人が集まってきました。吉田浜では相馬盆唄が普及されており、簡単な振り付けなので、子ども連れの家族みんなが輪に加わり、どんどん広がりみせます。

吉田浜のお祭りには欠かせない「海苔のす飛ばし」大会が始まりました。海苔すきの際に使用する「す」を点数がつく枠に狙ってより遠くに飛ばし、次々と日用品から食品をゲットしお母さんたちは大喜びです。

七ヶ浜町の無形文化財に指定された吉田神社奉納の獅子舞「吉田浜獅子舞保存会」の方々の演舞や東北大学ヨット部の大学生による演舞、また吉田浜ではおなじみの佐藤けい子さんの歌謡ショーで会場を盛り上げました。お祭り終盤には地震があり一時中断される場面がありましたが、古き良き伝統を身近に感じさせるコンテンツを織り交ぜたり、全員で協力しお祭りを完成させる地域の関係性が表れているのを感じました。

### 協賛社ブース出展内容

○実行委員会／手ぬぐい、うちわの配布

### レンタル備品

○檜・音響／一式 ○太鼓／1セット ○テント／2張 ○照明／投光器一式 ○テーブル・イス／一式

### レンタル縁日・遊具

○かき氷 ○ポップコーンマシーン ○射的セット ○スーパースポーツくい ○大声測定器



会場前にある掲示板には、子どもたち作成のお祭り告知ポスターが飾られ、思わず立ち止まって見入ります。



吉田浜ボランティアクラブのテントには「釜神」と呼ばれる厳めしい面相の木彫りの面が十数個並んでいます。



やりましょう盆踊り本部ブースで配布したJA共済様の手ぬぐいは、親子揃いで頭に巻き付けてくれました。



この地域で広まる「海苔のす飛ばし大会」。絶妙な角度から海苔のすを飛ばします。とにかく景品が豪華です！



お目当てのおもちゃが当たるよう念じながらクジを引く可愛らしい女の子。何が当たるかドキドキの瞬間！



色鮮やかなスーパースポーツは貸出縁日の一つ。流れるボールを追いながら好みのボールを狙っています。



少し薄暗くなり、提灯が灯ってきた16時30分頃。吉田浜地区では「相馬盆唄」をリビートしてみんなで踊り上げます。



子どもたちに大人気となった射的。海風を味方につけ、次々に大物のおもちゃをゲットしていきます。



初めて実施する大声コンテストでは、様々な世代が参加し、七ヶ浜の海に向かって日頃の思いを叫びました。



大声コンテストで優勝した男性には豪華景品の扇風機が贈答され、大喜びの男性は司会者とハイタッチ！



お祭り定番の玉コンや焼きそばはもちろん、つぶ焼きやイカのぼっかけなど海の幸が豊富に販売されました。



「なんちゅうソーラン」は吉田浜子供会の小学生からなる演舞。一条乱れず最後まで元気に踊り上げました。



お祭り会場からは防潮堤で見えませんが、高台から会場を覗くとすぐ目の前には七ヶ浜の海が広がります。



「吉田浜獅子舞保存会」の方々の演舞。緊張感が立ち込める中、二体の獅子が華麗な舞を披露しました。



有志の子どもが参加したラムネ早飲み大会。ビー玉を上手く遊べてラムネを飲むのがコツ！接戦の様子でした。



東北大学ヨット部の学生たちによる演芸。完成度の高い漫才や歌の披露などで会場が笑いに包まれました。

# 8/6(火)・7(水)・8(木) やりましょう盆踊り in 仙台七夕まつり



- ◆開催地/仙台市つなぎ横丁(仙台七夕まつり おまつり広場)
- ◆開催時間/18時00分～20時30分
- ◆盆踊り曲/七夕おどり、相馬盆唄、宮城野盆唄、東北音頭、花釜音頭

## 若者や海外からの観光客も多く参加し にぎやいだ晴天の3日間 震災後地域住民のために復活した「花釜音頭」との共演も

仙台七夕まつりでの盆踊りは、今年で5年目を迎えました。雨を心配することのない、晴天の3日間。通り雨はあったものの、盆踊り本番には影響もなく、夏の夕焼けと星空の下での開催となりました。

貼り出したポスターやうちわ、手ぬぐいを目にし、「何かあるんですか?」と気に掛ける方、「何時からですか?」「昨年も参加したんです!」と話す方など、徐々に知る人が増えているのだと嬉しく感じる瞬間が多かったです。18時のスタートを前に、浴衣姿ではしゃぐ子ども、学校帰りの学生、お孫さんの手を引くご夫妻と幅広い世代が櫓の周りに。外国の方も多く集まり、櫓や太鼓の写真を撮ったり、浴衣姿の方と記念撮影をしたりしながら始まりを待つ姿が印象的でした。

1曲目は仙台に昔から伝わる「七夕おどり」、次に「サア、ヨーイ、ヨーイ、ヨーイトナ!」という景気の良い掛け声で始まる「相馬盆唄」、東北の魅力を唄った「東北音頭」が会場に響きました。沿道で見ていた方

も徐々に輪へ加わり、1つだった輪は3重に。海外から来たというカップルは、踊り手ボランティアさんに踊りを教えてもらいながら輪に参加、その姿を沿道から彼が撮影するといった微笑ましい場面も。初日と2日目は、「せんだい・杜の都親善大使」の3名も輪に入り、子どもの手をとるなどして一緒に踊りました。3日目は、前日までの演目に「花釜音頭」が加わり、山元町・花釜地区の「花釜音頭保存会」の方々が登場。この音頭は、「震災で散り散りになった住民を結び付け、地区の賑わいを取り戻したい」という思いから震災後に復活したもので、多くの方に知られておとうと今回一緒に踊っていただきました。

こうしてたくさんの方が関わり、最後まで輪が切れることなく笑顔で終えた3日間。復興への願い、地域を越えた人と人の繋がり、国を越えた文化の伝承…と、新たな可能性を感じることができた盆踊りとなりました。



お囃子とボランティアのみなさん。時間が経つごとに増える参加者と熱気に最高の笑顔でバシバリ!今年もたくさんの方を元気にし、大きな「輪」を広げました。

### 協賛社ブース出展内容

- 住宅情報館株式会社/うちわ、チラシの配布
- 実行委員会/手ぬぐい、うちわの配布

### レンタル備品

- 櫓/一式
- 太鼓/1セット
- テント/1張
- 照明/投光器一式
- テーブル・イス/一式
- 発電機



海外の方も、それぞれのスタイルで踊りを楽しんでいました。とても美しく踊る2人の女性、練習してきたのでしょうか。



やぐらの上で、踊りを披露する「せんだい・杜の都親善大使」のみなさん。輪にも加わり一層華やかに。



沿道にはたくさん見物客の姿が。音と動きに合わせて手や足を動かすうち、途中から輪に加わる方も。



看板には、やりましょう盆踊りの説明と、昨年と今年開催した会場を記載。参加自由の文字に多くの方が足を止めます。



台湾からパレーの遠征で来た中学生のみなさん。祭りの雰囲気に興味津々で、手ぬぐい等を渡すととても喜んでくれました。



昨年制作し人気だった、オリジナルはんこ。記念に押ししていただけよう、今年もブースに設置しました。



仙台市の協力により「はっぴ」がレンタルできるブースが登場。県外からの観光客や、海外の方が立ち寄っていました。



背中には、今年のオリジナルうちわが。中には、昨年のうちわもあり、大切にいただいた事を嬉しく感じます。



踊り手ボランティアさんに仕草を教えよう、外国人観光客の女性。その姿を嬉しそうに撮影している彼の姿に、ほっこり。



やぐらの上から見る輪は、大迫力。徐々に増える参加者に、歌い手さんも絶好調!速くまで声を響かせました。



「花釜音頭保存会」のみなさんが踊りをレクチャー。初めてでもすぐ踊れるのは、身体に染みついた盆踊り魂のおかげ?



子供たちもたくさん参加してくれました。最初から最後まで、元気いっぱい踊る姿に周りの大人も自然と笑顔がこぼれます。



踊りは、18時から始まり20時半まで。途中休憩をしながら、それぞれテンポで楽しむ参加者のみなさん。



踊り手ボランティアさんと、参加者の方で記念撮影。みなさん、素敵な笑顔ですね。



風情ある祭りの後の静けさ。今年もたくさん笑顔に溢れた七夕まつり会場での盆踊り。また来年、お会いしましょう。

# 8/18日 やりましょう盆踊り in 泉中央おへそひろば



(レポート/実行委員会・及川)

- ◆開催地/仙台市泉区泉中央駅前広場 「is Me! おへそひろば」
- ◆開催時間/17時00分～20時00分
- ◆盆踊り曲/七夕おどり、相馬盆唄、炭坑節、宮城野盆唄、東京五輪音頭-2020-

## 地下鉄泉中央駅前 憩いのspaceにできた盆踊りの輪と子ども達の笑顔 昨年も開催された夏の風物詩が『おへそひろば』にやってきた!

昨年も開催されて好評だったやりましょう盆踊り。このお祭りの趣旨である東日本大震災で犠牲となった方の供養と鎮魂、及び地域のコミュニティを活性化させ復興へ進んでいくという考えに賛同していただくとともに、泉地区周辺に居住する方々がふれあい、盆踊りを通じて改めて日本文化の良さを再認識して、楽しんでもらう場をつくりたい。そんな思いから今年もアリオ仙台泉・セルバ・セルパテラスの3館が中心となり開催されました。

会場は昨年に引き続き、2016年9月に誕生した、泉区民にはすっかりおなじみの『is Me! おへそひろば』です。

盆踊り当日は夏の残暑のもと朝早くから関係者が広場の中心に檜の設置作業を開始。3館の買い物客の方々、駅に向かう親子、通りすがりのご夫婦、様々な人が興味津々な様子で足をとめていました。16時頃より練習がはじまり、屋台の準備や出店の準備をし始めると自然と多く

の人が集まってきて本番への期待感も高まりました。

盆踊り第一部は17時から歌い手の『よ〜い、よ〜い、よいとな〜』の景気のいい歌声でスタート。その合図とともに太鼓・笛が気持ちよくおへそ広場に響き渡ります。

浴衣をきて楽しそうにはしゃぐ子ども達。懐かしくて輪の中に入っていく買い物客。踊りを見守る老夫婦など。輪の内も外も多くの人でにぎわいました。踊りの輪は自然に2重になりました。

日も暮れて提灯の灯りが集まる人々の笑顔を照らしはじめたころ、第二部が休憩を挟んで19時よりスタート。一部で遠巻きでみていた夫婦や買い物帰りの主婦の方、学校帰りの学生たちも参加。二年目にして泉中央の新しい夏の風物詩になりつつある「おへそひろば」での盆踊りは大盛況で終えることができました。

### 協賛社ブース出展内容

○日本たばこ産業株式会社/喫煙スペース ○住宅情報館株式会社/うちわ、チラシの配布 ○実行委員会/手ぬぐい、うちわの配布

### レンタル備品

○檜/一式 ○太鼓/1セット ○照明/投光器一式 ○テーブル・イス/一式

### 出店内容

○仙台朝市みうらや/仙台みそから揚げ、仙台塩から揚げ、石巻焼きそば など ○オステリアハミングバード/フライドポテト、石窯pizza



会場も薄暗くなり、提灯の灯りのもと盆踊りを皆さん楽しんでいました。檜の上で踊る人、そのまわりの大きな踊り手の二重の輪ができてます。



小気味よい音を響かせる囃子手の皆さん。ステージの上で大太鼓とうまく呼吸を合わせていました。



やりましょう盆踊りオリジナルうちわは子ども達に好評で一部が終了する頃には、うちわと手ぬぐいの配布が終了しました。



ボランティアの方々。あちこちの会場まで足を運んでくださり、歌・踊り・演奏を披露してくださいました。



おへそひろばの盆踊り会場には、まもなく終わる夏休みの最後を惜しむように家族連れでにぎわっていました。



会場から見上げた空は朝から晴れわたり、残暑を楽しむかのように子ども達がたくさん集まりました。



ポスターが会場の壁面に掲出され、アリオ仙台泉様、セルバ様、セルパテラス様の意気込みが伝わります。



盆踊りを踊る人々をいい香りで誘惑していた飲食屋台。踊りを眺めながら熱心に営業されていました。



JT様の協賛ブースでは、Ploomのスモーキングルームを設置・PR。盆踊りの合間に休憩されている方もいらっしゃいました。



会場名が入った看板のもと、歌い手と囃子手がフィナーレに向かって会場を熱く盛り上げます。



第一部がスタート。早速多くの子ども達が待ってましたとばかりに、踊りの輪が自然にできて盛り上がりました。



前回同様、司会と踊りの説明を兼任した与野氏。子ども達や初心者にも好評でした。



盆踊りの輪の外では、踊りをゆっくり座って眺める人や、踊りつかれて休憩する人もいらっしゃいました。



盆踊りを踊る、小さな来場者。ボランティアの方に振付を覚えてもらいながら一生懸命踊っていました。



大太鼓はいつも増して大活躍。きざみリズムが小気味よく、迫力のある音が会場内外に響き渡ります。



円形に空が切り取られ、この会場だから見えてくるの情景です。泉中央の中心、おへそひろばならではのショットです。

# 9/1日 やりましょう盆踊り in 第28回 オール赤井まつり



(レポート/実行委員会・渡邊)

- ◆開催地/東松島市赤井字川前三189-1 赤井中央公園、赤井市民センター
- ◆開催時間/14時30分～19時30分
- ◆盆踊り曲/宮城野盆唄

## 主役は「赤井」。地域が一丸となり、復興を祝う。 子どもは未来をテーマにふるさとを盛りあげます。

晴天に恵まれた9月のはじめ、朝から会場準備に勤しむ赤井各地区の皆さんの姿がありました。地域の拠り所であり、交流の場でもある赤井市民センターと赤井中央公園で開催されるオール赤井まつりは、人と人、地域と地域の絆を結ぶ「オール赤井」で開催されます。

子どもは未来をテーマに掲げ、赤井の未来を担う子ども達を増やし、「ふるさとへの想い」を育むことで、より地域の活性化を図っています。その志に賛同し、その想いの実現の一助になればとの想いで支援を行いました。

14時半の開始へ向け、続々と会場へ足を運ぶ姿がありました。実行委員の挨拶のもと、オール赤井まつりがスタートします。我々の盆踊りは開始早々に、「宮城野盆唄」で参加させていただきました。開始と同時に住民の方や来賓の方そしてたくさんのお子もたちが加わり、踊り手ボランティアや赤井地区の100人ダンサーズと併せて大きな円となって

広がりをみせました。盆踊りの時間が終了した後は、紅白の餅まきが行われ、子どもから大人まで参加し、大いに盛り上がりました。

盆踊りでスタートしたお祭りは、赤井小学校の「赤井いぶき太鼓」、赤井南小学校の「ぶち合わせ太鼓」や矢本第二中学校の吹奏楽の発表で、地域の子どもの成長を感じさせる演目のほか、地域のサークルの演舞披露で地域の躍動を感じました。

日も落ちてきた頃、二回目のやりましょう盆踊りが始まり、一回目の倍以上の方々に参加していただきました。東松島市の公式キャラクター「イトくん」も参加し、子どもたちと記念撮影。もちろん盆踊りも披露していただきました。地区の方々が参加し、準備から開催まで地域で作上げるオール赤井まつり。たくさんの笑顔に溢れた夏の終わりをつげる華やかな1日でした。

### 協賛社ブース出展内容

- 河北新報社・佐藤新聞店/ガラポン抽選会
- 実行委員会/手ぬぐい、うちわの配布

### レンタル備品

- 檜・音響/一式
- 太鼓/1セット
- 照明/投光器一式

### レンタル縁日・遊具

- 長水用かき氷機
- 鉄板焼き機
- ポップコーンマシン
- 焼き鳥焼き機



オール赤井まつりとやりましょう盆踊りのポスターを並べて掲出いただきました。28回も続くお祭りと並べていただけただけで光栄です。



各地区の方々が朝早くから飲食出展の準備。皆さん、汗をかきながらも楽しそうに取り組んでいらっしゃいました。



1回目の盆踊り、晴天に恵まれ浴衣を着たボランティアさんも晴れやかに踊ります。周りもつられて踊りの輪が広がっていきます。



赤井市民センターを背に輪になった盆踊り。赤井市民センターはまもなく改修が終わります。



来賓の方々の参加もあり、大いに盛り上がりました。夏空の下、宮城野盆唄が流れ皆様が踊る。夏の風物詩が完成します。



盆踊りの後、赤井市民センター完成前祝いとして、紅白の餅まきが行われ、赤井の実行委員会、東松島市長も参加しました。



盛り上がり最高潮を迎え、人、人、人にあふれる会場。夕暮れの中、提灯の華やかさと一人ひとりの笑顔がさらに会場を彩ります。



赤井小学校の「赤井いぶき太鼓」の披露。地元の小学生の躍動に観客も大いに盛り上がりました。



矢本第二中学校の吹奏楽演奏。綺麗な音色が暑さを忘れさせます。



赤井南小学校の「ぶち合わせ太鼓」の披露。日々の練習の成果を見せられ拍手喝采でした。



日も暮れ、檜に掲げた提灯が会場を灯します。祭りの合間に一瞬感じる静けさが、夏の終わりを思わせし寂しさも覚えます。



たくさんの人混みのなか、東松島市公式キャラクターの「イトくん」も盆踊りに参加してくれました。



子ども大人も皆で参加できる盆踊り。1つの輪が二重、三重となり、盆踊りの楽曲が人々の気持ちを繋げてくれます。



昨年のやりましょう盆踊りの手ぬぐいをはぎ合わせた衣装で、盆踊りに参加していただいているのは実行委員会の方です。



盆踊りも終盤に向かい、太鼓を叩く音にも力が入ります。太鼓の音の1つ1つが会場に響き渡り、胸に熱く刺さります。



気がつけば、あたりはすっかり夜を迎えていました。夜空に咲く提灯が寂しさを感じさせ、祭りの終わりを告げています。

# 踊り手・歌い手・お囃子育成練習会

盆踊り会場を盛り上げるために、5年前より開催している「盆踊り練習会」。例年参加いただいている方や、広告を見て参加された方など、幅広い年代の方にお越しいただきました。

本番では練習の成果を存分に発揮。開催地の地域住民とのコミュニケーションを行う傍ら、初めて盆踊りに触れる観光客やお子さんにも踊りを指導する場面も見られました。

◆開催期間／4月9日(火)～7月30日(火) ◆開催場所／河北新報社別館5階ホール ◆参加費／無料

## 「踊り」の練習(全13回)

◆開催場所／河北新報社別館5階ホール

- ① 4月 9日(火)
- ② 4月23日(火)
- ③ 5月 7日(火)
- ④ 5月11日(土)
- ⑤ 5月28日(火)
- ⑥ 6月 8日(土)
- ⑦ 6月11日(火)
- ⑧ 6月25日(火)
- ⑨ 7月 2日(火)
- ⑩ 7月 6日(土)
- ⑪ 7月 9日(火)
- ⑫ 7月16日(火)
- ⑬ 7月23日(火)

### 練習曲目

七夕おどり、宮城野盆唄、相馬盆唄、東北音頭、炭坑節、亙理音頭、岩沼音頭、多賀城踊りほか

## 「唄と太鼓」の練習(全7回)

◆開催場所／河北新報社別館5階ホール

- ① 4月16日(火)
- ② 5月21日(火)
- ③ 6月18日(火)
- ④ 7月 2日(火)
- ⑤ 7月 9日(火)
- ⑥ 7月16日(火)
- ⑦ 7月23日(火)



### 練習曲目

七夕おどり、宮城野盆唄、相馬盆唄 ほか

## 「帯結び」練習

◆開催場所／河北新報社別館5階ホール ◎ 6月25日(火)



# プレ盆踊り

本格的な盆踊りシーズンの前に、仙台市青葉区の勾当台公園市民広場で県内の盆踊り曲を紹介する「プレ盆踊り」を開催しました。プロジェクトの趣旨や踊り方説明などを交え、初めての人にも気軽に参加いただきました。

◆開催場所／勾当台公園市民広場

- ① 6月 4日(火)
- ② 6月16日(日) ※雨により中止
- ③ 7月30日(火)

### 練習曲目

七夕おどり、宮城野盆唄、相馬盆唄、東北音頭、多賀城踊り、亙理音頭 ほか



# 「宮城野盆踊り」講師派遣事業

宮城野区役所のまちづくり推進課様のご依頼で、住民同士の交流を深めると共に、地域の夏祭りなどに生かすため、仙台市宮城野区発祥の「宮城野盆踊り」をフックとした、踊りの練習会を6月より随時実施しました。やりましょう盆踊りの踊り手ボランティアが各自治会に出向き、「宮城野盆唄」に合わせて振り付けを教えました。練習会の成果を町内会の夏祭りで踊っていただきました。

また、11カ所の町内会の夏祭りに参加し、踊りの輪の先導となるようお手伝いをさせていただきました。



# 開催会場インタビュー

毎年、町内会・自治会が盆踊りの主催者になることを条件とし、開催地の公募を行っています。公募をいただき、お手伝いすることを決定した主催自治会は、それぞれの思いでそれぞれの順序で盆踊りの成功に向け準備や打ち合わせを重ね、当日を迎えていました。今回は、開催会場のうちの2カ所の代表者から、開催後のお話を聞くことができました。

河北新報で『やりましょう盆踊り』の公募を知り、ダメもとで応募した結果、幸運にも今回のご支援をいただくことになり、本当にありがとうございました。

昨年までは、県の地域コミュニティ再生支援事業の補助金を基に夏祭りの盆踊りを行ってきましたが、昨年で補助金の支援も打ち切りとなり、今年の開催を思案していたので今回の支援は本当に有難く感謝しております。

当日は好天にも恵まれ350名余りの参加があり、老若男女、盆踊りを楽しみ、地域のコミュニケーションが図られ素晴らしい盆踊りとなりました。

参加者からは、来年も実施してほしい旨の要望も多く、自前での盆踊り櫓、ちょうちん飾りなど開催に向けての検討をしていきたいと思っております。

今回の開催にあたり、協賛社の皆さま、踊り手ボランティアの皆さま、河北新報関係の皆さまのご支援、ご協力に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



吉田浜行政区  
代表区長 伊藤 喜久雄さん



赤井地区自治協議会  
会長 渥美 耕太郎さん

「オール赤井まつり」は、その名の通り赤井地区の全住民のためのお祭りです。実行委員150人体制で、みんなが主役の住民参加型のお祭りを行っています。

この地区にある赤井市民センターは、常に住民に寄り添った活動を心がけてきました。そして震災から8年が経過した今年、ようやく大規模改修工事が始まりました。

今回のお祭りで、綺麗になった市民センターのお披露目と赤井地区の復興を祝いたいと『やりましょう盆踊り』に応募しました。

祭り当日は天気にも恵まれ、絶好の盆踊り日和。櫓を囲んで三重の輪ができ、子どもから高齢の方まで、みんな笑顔で『宮城野盆唄』を踊りました。

『盆踊り』は心の故郷であり、まちづくりの原点だと、しみじみと思いました。また、赤井の住民が「オラが古里赤井はひとつ」になったお祭りでした。関係者の皆様、ご支援とご協力ありがとうございました。

# やりました盆踊り 〈各種ツール〉

## オリジナル手ぬぐい

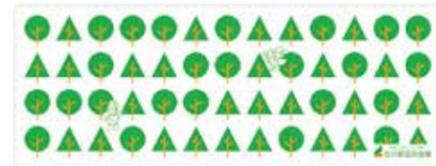
仙台の伊達文化の染め技法を今に引き継ぐ「永勲染工場」による、ご協賛各社様のロゴを染めたオリジナル手ぬぐいを1,000枚製作。晴天に恵まれた3日間、頭や首に巻いたりと多くのご来場者様に使用されました。



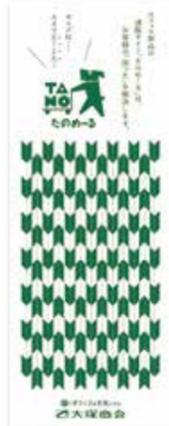
## 特別協賛手ぬぐい



▲JA共済様



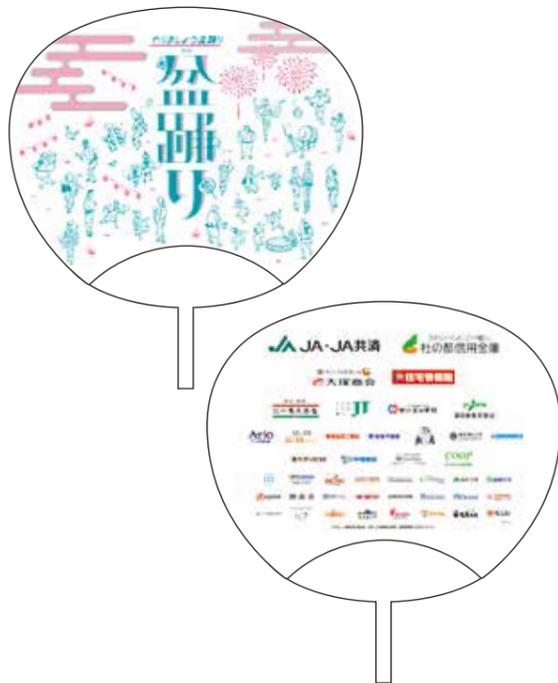
▲杜の都信用金庫様



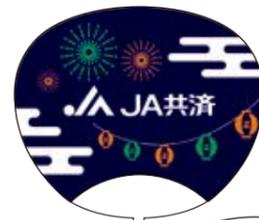
▲大塚商会様

## オリジナルうちわ

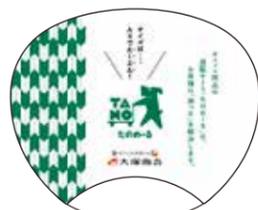
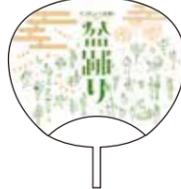
協賛各社のロゴをカラーで配した「やりました盆踊り」オリジナルうちわを製作。各会場に約200枚配布し、盆踊りにご来場いただいた方に配布しました。ゆかたの背に挿したり、手に持ち踊る姿がまつりを一層華やかにしました。



## 特別協賛うちわ



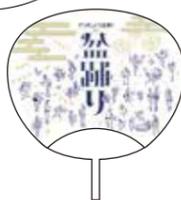
▲JA共済様



▲大塚商会様



▲ヒトロボ様



## 会場設置看板



【設置式櫓用看板】  
正面／裏／側面（特別協賛面）／側面（一般協賛面）  
全会場の櫓に協賛各社のロゴをレイアウトした看板を掲出。ご来場いただいた方の目に留まる場所に設置したことで、協賛各社様のPRにも繋がりました。



【可動式櫓用看板】  
側面（特別協賛面）／側面（一般協賛面）



## 開催告知ポスター

「やりました盆踊り」開催告知ポスターを七ヶ浜町吉田浜・泉中央おへそひろば・東松島市赤井の3種類を作成し、自治会に提供。開催地の町内の各所に展示していただきました。また、仙台駅東口で開催された夏まつり仙台すずめ踊りでも本企画内容がポスターの一部に掲載されました。



# やりました盆踊り〈広告展開〉

## 開催告知および盆踊り練習会告知広告

3月26日(火)、4月8日(月)、17日(水)河北新報朝刊・全5段モノクロ広告スペースで本年度の「やりました盆踊り」および「盆踊り練習会」の開催告知広告を掲載しました。



▲河北新報朝刊／3月26日(火)、4月8日(月)、17日(水)掲載  
全5段モノクロ広告

## 開催告知広告

7月24日(水)、河北新報朝刊全15段カラー広告スペースで本年度の開催告知広告を掲載しました。今年度の開催日程を紹介。



河北新報朝刊／7月24日(水)掲載  
全15段カラー広告

## 開催報告広告

9月13日(金)、河北新報朝刊全15段カラー広告スペースで本年度の開催報告広告を掲載しました。「やりました七夕おどり・盆踊りin仙台七夕」「やりました盆踊り」の様子を写真で紹介。



河北新報朝刊／9月13日(金)掲載  
全15段カラー広告

## 特集記事

大仙台圏に44万部発行するフリーペーパー「河北ウイークリーせんだい」、7月25日号(木)の中面特集として「盆踊りの「輪」から広がる「和」。やりました盆踊り」を発行。



▲河北ウイークリーせんだい／7月25日号(木)中面特集「盆踊りの「輪」から広がる「和」。やりました盆踊り」

## メディア掲載

### 【練習会案内】

河北新報朝刊／7月30日掲載▶

2019年4月22～26日、30日、5月1日、7～10日、6月7日、11～14日、21日、26～28日、7月2～4日、10～12日、17日、18日、8月13日、15日、16日

五輪音頭2020やご当地曲紹介  
仙台できょうフレ盆踊り  
本格的な盆踊りシーズンを前に、仙台市青葉区の勾当台公園市民広場で30日午後5時～7時半、県内の盆踊り曲を紹介する「フレ盆踊り」が開かれる。盆踊り開催を通じた地域づくりを支援する河北新報グループ「やりました盆踊り実行委員会」主催。  
仙台圏でホビニラーな七夕おどり、宮城野盆唄、相馬盆唄のほか、東日本大震災の被災地の直理音頭、岩沼音頭、多賀城おどり、気仙沼音頭などを、みんなで踊り楽しむ。「東京五輪音頭2020」の踊り方の説明もある。  
参加無料。事前申し込み不要。荒天中止。問い合わせは同委員会事務局手ボランティア担当090(7)790(0)2020。

### 【開催地域取材】



▲河北新報朝刊／8月7日掲載



▲河北新報朝刊／8月9日掲載

### 【テレビ放送】

やりました盆踊りの活動にスポットが当たり、各放送局に取り上げていただきました。

- 東北放送「Nスタみやぎ」／2019年8月19日放送『「宮城野盆唄」を広めたい』
- J:COM「デイリーニュース」／8月19日同日4回放送「やりました盆踊りin泉中央」おへそ広場
- J:COM(特番)／8月17日、18日、23～25日、30日放送「夏まつり 仙台すずめ踊り」



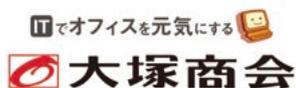
## Facebookによるタイムリーな情報発信

いつでもタイムリーに情報発信できるFacebookの利点を活かし「やりました盆踊り実行委員会公式Facebookページ」を運営。実行委員会による、盆踊り練習会の開催告知を行い、また、開催期間中には会場からリアルタイムで画像を投稿。ページのフォロワー数は2019年9月現在で471件。1件の投稿につき平均350人以上の閲覧者を獲得し、最大で4,500人近い閲覧者を獲得した投稿もありました。

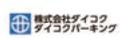
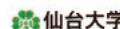
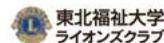
◎やりました盆踊り実行委員会公式Facebookページ  
<https://www.facebook.com/yarimashowbonodori>



特別協賛



一般協賛



(順不同)